

一般質問・質疑の概要

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）												
1	質問 (一問一答)	4 西村 雅博	<p>1 企業誘致について</p> <table border="1" data-bbox="641 318 1458 517"> <tr> <td data-bbox="641 318 708 427">(1)</td> <td data-bbox="708 318 1458 427">本市において、これまで実施した企業誘致について、具体的な誘致活動の方法、誘致した企業の件数、また今後の誘致活動に関する市長の考え方について伺います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="641 427 708 517">(2)</td> <td data-bbox="708 427 1458 517">企業誘致に必要な敷地確保に関する調査・検討の実施について市長の考え方について伺います。</td> </tr> </table> <p>2 住宅の耐震化について</p> <table border="1" data-bbox="641 571 1458 680"> <tr> <td data-bbox="641 571 708 680">(1)</td> <td data-bbox="708 571 1458 680">野々市市住宅耐震化アクションプログラム2023で計画した施策に対する今年度の実績、市民への周知方法の改善策、耐震促進計画に関する市長の考え方について伺います。</td> </tr> </table> <p>3 空き家対応について</p> <table border="1" data-bbox="641 734 1458 981"> <tr> <td data-bbox="641 734 708 844">(1)</td> <td data-bbox="708 734 1458 844">空家等対策の推進に関する特別措置法が制定され、約8年が経過したが、現時点における空き家件数とこれまでの空き家対策について市長の見解を伺います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="641 844 708 981">(2)</td> <td data-bbox="708 844 1458 981">空き家対策として、実施している「空き家バンク」について、空き家バンク登録に関する、補助制度や奨励金制度の導入検討の可否について、また、今後の運用について、市長のお考えについて伺います。また、解消に向けた課題、今後の対策について伺います。</td> </tr> </table> <p>4 公衆無線LANについて</p> <table border="1" data-bbox="641 1034 1458 1144"> <tr> <td data-bbox="641 1034 708 1144">(1)</td> <td data-bbox="708 1034 1458 1144">デジタル技術を活用するためには、高速かつ安定してインターネットを利用できる環境整備が必要と考えますが、本庁舎内における公衆無線LANの導入について市長の見解について伺います。</td> </tr> </table>	(1)	本市において、これまで実施した企業誘致について、具体的な誘致活動の方法、誘致した企業の件数、また今後の誘致活動に関する市長の考え方について伺います。	(2)	企業誘致に必要な敷地確保に関する調査・検討の実施について市長の考え方について伺います。	(1)	野々市市住宅耐震化アクションプログラム2023で計画した施策に対する今年度の実績、市民への周知方法の改善策、耐震促進計画に関する市長の考え方について伺います。	(1)	空家等対策の推進に関する特別措置法が制定され、約8年が経過したが、現時点における空き家件数とこれまでの空き家対策について市長の見解を伺います。	(2)	空き家対策として、実施している「空き家バンク」について、空き家バンク登録に関する、補助制度や奨励金制度の導入検討の可否について、また、今後の運用について、市長のお考えについて伺います。また、解消に向けた課題、今後の対策について伺います。	(1)	デジタル技術を活用するためには、高速かつ安定してインターネットを利用できる環境整備が必要と考えますが、本庁舎内における公衆無線LANの導入について市長の見解について伺います。
(1)	本市において、これまで実施した企業誘致について、具体的な誘致活動の方法、誘致した企業の件数、また今後の誘致活動に関する市長の考え方について伺います。														
(2)	企業誘致に必要な敷地確保に関する調査・検討の実施について市長の考え方について伺います。														
(1)	野々市市住宅耐震化アクションプログラム2023で計画した施策に対する今年度の実績、市民への周知方法の改善策、耐震促進計画に関する市長の考え方について伺います。														
(1)	空家等対策の推進に関する特別措置法が制定され、約8年が経過したが、現時点における空き家件数とこれまでの空き家対策について市長の見解を伺います。														
(2)	空き家対策として、実施している「空き家バンク」について、空き家バンク登録に関する、補助制度や奨励金制度の導入検討の可否について、また、今後の運用について、市長のお考えについて伺います。また、解消に向けた課題、今後の対策について伺います。														
(1)	デジタル技術を活用するためには、高速かつ安定してインターネットを利用できる環境整備が必要と考えますが、本庁舎内における公衆無線LANの導入について市長の見解について伺います。														
2	質問 (一問一答)	12 安原 透	<p>1 野々市市防災5か年計画、次期5か年計画に向けて</p> <table border="1" data-bbox="641 1205 1458 1570"> <tr> <td data-bbox="641 1205 708 1314">(1)</td> <td data-bbox="708 1205 1458 1314">野々市市防災5か年計画の計画期間中に浮き彫りになった課題について伺う。また合わせて、次の5か年計画に向けて継続して取り組む課題があるか所見を伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="641 1314 708 1424">(2)</td> <td data-bbox="708 1314 1458 1424">自主防災組織が積極的に訓練を行うことが出来る「訓練の為の補助金」を創設し、避難訓練や防災に関する取組みについて積極的に実施が出来る体制を作っていくべきであると考え。本市の所見を伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="641 1424 708 1570">(3)</td> <td data-bbox="708 1424 1458 1570">「地域の福祉施設との連携による防災力向上」を目指すために、本市が積極的に自主防災会と社会福祉施設の双方に働きかけを行い地域と施設相互の連携強化による「共助」の体制づくりを推進すべきである。本市の所見を伺う。</td> </tr> </table> <p>2 安全で安心な小・中学校の給食のオーガニック（有機農産物）化について</p> <table border="1" data-bbox="641 1624 1458 1845"> <tr> <td data-bbox="641 1624 708 1733">(1)</td> <td data-bbox="708 1624 1458 1733">本市小・中学校の給食のオーガニック化について、安全で安心なオーガニック食材を取り入れた学校給食を実現していく為、まずは準備のための議論を推進すべきと考える。本市の所見を伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="641 1733 708 1845">(2)</td> <td data-bbox="708 1733 1458 1845">農業生産者数及び市内耕地面積の減少による、地場産食材の量的確保の現状の課題を踏まえた、これからの本市におけるオーガニック食材の量的確保の課題について本市の所見を伺う。</td> </tr> </table> <p>3 本市「カーボンニュートラル」の実現と市民に向けた実行の為の取組みについて</p> <table border="1" data-bbox="641 1899 1458 2031"> <tr> <td data-bbox="641 1899 708 2031">(1)</td> <td data-bbox="708 1899 1458 2031">2010年度から2021年度まで実施された本市が行うすべての事務事業を対象とした第一次野々市市地球温暖化対策実行計画の推進結果と課題について所見を伺う。</td> </tr> </table>	(1)	野々市市防災5か年計画の計画期間中に浮き彫りになった課題について伺う。また合わせて、次の5か年計画に向けて継続して取り組む課題があるか所見を伺う。	(2)	自主防災組織が積極的に訓練を行うことが出来る「訓練の為の補助金」を創設し、避難訓練や防災に関する取組みについて積極的に実施が出来る体制を作っていくべきであると考え。本市の所見を伺う。	(3)	「地域の福祉施設との連携による防災力向上」を目指すために、本市が積極的に自主防災会と社会福祉施設の双方に働きかけを行い地域と施設相互の連携強化による「共助」の体制づくりを推進すべきである。本市の所見を伺う。	(1)	本市小・中学校の給食のオーガニック化について、安全で安心なオーガニック食材を取り入れた学校給食を実現していく為、まずは準備のための議論を推進すべきと考える。本市の所見を伺う。	(2)	農業生産者数及び市内耕地面積の減少による、地場産食材の量的確保の現状の課題を踏まえた、これからの本市におけるオーガニック食材の量的確保の課題について本市の所見を伺う。	(1)	2010年度から2021年度まで実施された本市が行うすべての事務事業を対象とした第一次野々市市地球温暖化対策実行計画の推進結果と課題について所見を伺う。
(1)	野々市市防災5か年計画の計画期間中に浮き彫りになった課題について伺う。また合わせて、次の5か年計画に向けて継続して取り組む課題があるか所見を伺う。														
(2)	自主防災組織が積極的に訓練を行うことが出来る「訓練の為の補助金」を創設し、避難訓練や防災に関する取組みについて積極的に実施が出来る体制を作っていくべきであると考え。本市の所見を伺う。														
(3)	「地域の福祉施設との連携による防災力向上」を目指すために、本市が積極的に自主防災会と社会福祉施設の双方に働きかけを行い地域と施設相互の連携強化による「共助」の体制づくりを推進すべきである。本市の所見を伺う。														
(1)	本市小・中学校の給食のオーガニック化について、安全で安心なオーガニック食材を取り入れた学校給食を実現していく為、まずは準備のための議論を推進すべきと考える。本市の所見を伺う。														
(2)	農業生産者数及び市内耕地面積の減少による、地場産食材の量的確保の現状の課題を踏まえた、これからの本市におけるオーガニック食材の量的確保の課題について本市の所見を伺う。														
(1)	2010年度から2021年度まで実施された本市が行うすべての事務事業を対象とした第一次野々市市地球温暖化対策実行計画の推進結果と課題について所見を伺う。														

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）	
2	質問 (一問一答)	12 安原 透	(2)	温室効果ガス（GHG）排出を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の実現を目指すには、まず自動車からの排出を大幅に削減することが不可欠である。政府は、遅くとも2030年代半ばまでに、乗用車新車販売で電動車100%を実現すると発表している。市民の自動車がEVに替わっていくことを推進するためには、街中の急速充電スポットの数を増やすことは、必須である。本市として、EV急速充電できるスポットを設置する考えはあるか伺う。
3	質問 (一問一答)	7 梅野智恵子	1	本市の伝統芸能と保存継承について <ul style="list-style-type: none"> (1) 本市の地域踊りといわれる伝統芸能に関して市長はどのような認識と印象をお持ちでいらっしゃるか、市長の思いをお伺いいたします。 (2) 本市の地域踊りを後世に残し継承していくために、まずは今現在踊られている御経塚じょんがら節、富奥じょんから節を市の無形民俗文化財として指定いただくことを提案いたします。本市の見解をお伺いいたします。 (3) 今後、伝統芸能の継承についてぜひ本市の方でもこれまで以上に次世代に向けて取り組んでいくべきと考えます。本市の見解をお伺いいたします。
			2	学校公開とコミュニティスクールについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 本市2つの中学校の保護者、地域や一般の方々の授業参観、学校公開それぞれの来校者数をお伺いいたします。 (2) 地域協働で育む開かれた学校の在り方として、まずは学校、保護者、地域との相互理解を深め連携協働のために学校公開への周知、取組などを市民の皆様積極的に働きかけていくべきと思っておりますが、見解をお伺いいたします。また、コミュニティスクールが発足してもうすぐ2年となりますが、成果と課題、また今後の展望をお伺いいたします。
4	質問 (一問一答)	1 三納 昭博	1	野々市市地域防災計画について <ul style="list-style-type: none"> (1) 本年は前年までと違う「ウイズコロナ」の避難訓練と感じる中で、年々見直されているとお伺いしますが、市職員側の分担や防災士の避難所運営、避難者など困難はなかったかお伺いします。また、翌年に向け計画の見直しは進んでいるか、見直し内容をお伺いします。 (2) 拠点避難所の収容人数について、コロナ以前より収容人員が少ない状況が続いているが、災害時において十分な収容人員数であるかお伺いします。また、拠点避難所の必要数についても市の考えをお伺いします。 (3) 現在協定を結んでいる6ヶ所の福祉避難所について、市の想定する避難者数や市が福祉避難所に避難が必要と考える数は、収容人数と比較すると不足していると考えます。今後、福祉避難所を増やしていくと伺っていますが、市の進捗状況や見直しをお伺いします。
			2	石川県と市職員の人事交流について <ul style="list-style-type: none"> (1) 近年本市においては、滞納整理機構の立ち上げ前や福祉事務所の開設準備に対してなど、必要に応じて出向しているとお伺いしています。他市においては県とのパイプ役として若手から中堅の職員が研修名目で恒常的に出向されているとお伺いしています。本市においては、近年は人事交流目的の出向は無いと思われそうですが、今後の県とのパイプづくり、若手の幹部候補のスキルアップなどを目的とした県への出向を行う考えはないかお伺いします。
			3	市の職員数について <ul style="list-style-type: none"> (1) フルタイムに近い会計年度任用職員が全体職員数の2割を占めている状況ですが、正規職員を増やす計画がないかお伺いします。

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
4	質問 (一問一答)	1 三納 昭博	<p>4 子どもを守るための初動対応について</p> <p>(1) 学校や教育センターではスクールカウンセラー等の増強を行い、子どもが相談できる体制を増強しているとお伺いしています。学校において、不登校や生徒の悩みをはじめ、親などによるネグレクトや虐待等を疑う状況を確認した場合の学校の初動対応についてお伺いします。</p> <p>(2) 地域住民や児童相談所をはじめ、各機関からの通報や連絡による場合の市の初動対応についてお伺いします。また、地域住民や各機関からの連絡や相談による場合の市の民生委員児童委員の初動対応についてお伺いします。</p> <p>(3) 各機関同士の情報提供に困難がある場合や、ケース会議前の状況における各機関の情報のやりとりが難しい場合があると伺っております。状況に応じ、子どもの必要な情報を入手できるような仕組みや、情報を管理するハブ的な場所が必要かと思われまます。事が起きる前の対応が必要かと思っておりますが、教育委員会（学校）と市の考えをお伺いします。</p> <p>5 生活困窮者対策について</p> <p>(1) 生活保護を受ける前の状況で利用のできる現在の制度として、主なものとして生活福祉基金やフードパントリー、フードドライブ等があります。市における生活困窮者対策についての今後の方針や考えをお伺いします。また、相談体制の周知をはじめ相談できる環境づくりをしていただきたいが、市の考えをお伺いします。</p>
5	質問 (一問一答)	5 田中 陽子	<p>1 通学区域制度の弾力的運用について</p> <p>(1) 児童生徒の就学において、本市では「保護者は児童生徒を教育委員会が指定した小学校または中学校に就学させなければなりません、特別な理由がある場合は、指定された以外の小学校または中学校に就学させることができます」となっています。昨年度の小学校5校と中学校2校の「指定学校変更申立書」の申請件数と認められた実績数を伺います。また過去10年間の実績数の推移から学校別分析で読み取れる特徴等が少なからずあるのではないかと考えますが具体的な見解を伺います。</p> <p>(2) 本市の指定学校変更申立書様式に記されている申立理由については、8項目のいずれかに該当しなければ変更出来ないことと原則なっていますが、平成18年3月文部科学省「学校教育法施行規則の一部を改正する省令等及び学校教育法施行令第8条に基づく就学校の変更の取り扱い(通知)」から、「この制度が確実に周知され、その適切な活用が一層進むよう、市町村の教育委員会が就学校の指定に係る通知において、その指定の変更についての保護者の申立てが出来る旨を示すものとする」という事に対して、本市の周知は決して十分ではないと考えます。また、申立書の理由については、わかりにくい表現になっていると一部の声を受け止めています。確実に毎年周知していただき、加えて分かり易い表現に見直していただきたいと考えますがご見解を伺います。</p> <p>(3) 本市の様々な学校環境等の実状を踏まえながら、文部科学省で示されている「公立小学校・中学校における学校選択制等についての事例集」を考察しますと、学校の選択制や就学校の指定校変更について、さらに検討を進めていく時期に来ていると思えます。「学校選択制」には、①自由選択制、②ブロック選択制・隣接区域選択制、③特定地域選択制、等があります。また「就学校の指定変更」として、①不登校解消のための指定校変更、②通学距離を短縮できる指定校変更、③部活動有無による指定校変更、④個別事情によらない指定校変更、等が市町村教育委員会の裁量で行えます。保護者や児童生徒に「選択」できるという環境を整えるという事は、自ら考え、自主的に学校を選び、進んで学ぶという本来のあるべき教育の姿であり、喫緊の諸課題解決に大きく寄与すると考えます。「学園都市ののいち」として、潜在的なニーズの実態調査などを行い、各関係機関と協議を行っていただいた上で、実施に結び付けていただきたいと思います。市長の所見を伺います。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
5	質問 (一問一答)	5 田中 陽子	<p>2 入札参加資格者実態調査について</p> <p>(1) 本市において、これまで入札参加資格を有する市内業者を対象に「入札参加資格者実態調査」を実施した実績があるのか伺います。事例として山口県岩国市では、令和5年度より入札参加資格審査制度の厳格な運用のため、事業所としての実態が十分でない企業に対して、改善を求めるため、また、一定の期限までに改善が確認できない場合は、入札参加資格の格付けの一時取り消し等の措置を行い、不適格業者の排除を図るため、対象業者に対して事前連絡を行わず、市職員が本社(本店)の実態等について確認を行っているものです。他の自治体でも類似の実態調査を行っています。令和5・6年度の野々市市競争入札参加資格申請については書類審査が終わっていると思われませんが、その申請者に対し、実態調査を実施すべきと考えますが市長の見解を伺います。</p> <p>3 市政運営について</p> <p>(1) 今年も残すところ半月程となりました。今年を振り返りますと、野々市市議会の改選をはじめ統一選挙の年でありました。私も議員一期目ではありますが、コロナ禍後の社会生活や経済の復旧に向けて、市政の発展や市民の暮らしの向上について考えさせていただきました。栗市長にとって、今年一年間の市政の総括所見を伺います。また、今年の1年を一言で表すとすれば、私は「前進」というキーワードが浮かぶのですが、市長はどのような言葉で総括されるのでしょうか。見解を伺います。</p> <p>(2) 来年の令和6年の干支は「甲辰(きのえたつ)」年です。古(いにしえ)より「辰」といえば、十二支の中で最も縁起の良い干支とも言われており、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」とも言われています。野々市市や市民の方々にとっても、豊かで幸せな1年になることを深く願いますとともに、そうなるためにしっかりと諸課題の解決に向けて取り組んでいかなければならないと思います。来年はどのような1年になされたいのか、どのような事に重点的に取り組んでいきたいのか市長の思いを伺います。</p>
6	質問 (一問一答)	13 西本 政之	<p>1 野々市市男女共同参画推進条例について</p> <p>(1) 男性と女性の共同参画が進められてきた中、多様な性を含めた共同参画を推進するべき時期がきている。題名の変更及び条文の修正を行うべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) アウティングの禁止について、禁止条例を制定するか、共同参画条例の条文に明記するべきと考えるがいかがか。</p> <p>2 学校設備について</p> <p>(1) 近年の酷暑による、子供たちのスポーツ環境の悪化を改善し、避難所としての機能を向上させるためにも、学校体育館の空調設備の整備を急げ。</p> <p>(2) 小学校の遊具が、いくつか使えない状態となっている。春には使用可能となるように整備を急げ。</p> <p>3 特別支援教室について</p> <p>(1) いくつかの学校では、8人の児童・生徒を1人の教職員が担任している。国の基準とは言え、かなり負担が大きい。人的支援を行うべきと考えるがいかがか。</p> <p>4 野々市小学校について</p> <p>(1) 児童数が増加している。北部にもう一校小学校が必要であると声が上がっている。校区の見直しと合わせて見解を伺う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
7	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p>1 旧本町児童館の活用策について</p> <p>(1) 昨年11月から閉館となった旧本町児童館を活用し、旧北国街道のにぎわいの創出及び地域の活性化を図るためとして、利活用する民間事業者を公募型プロポーザルにより募集するとしている。本町地域の子どもを持つ親から「無くさないで」との声を無視し、行政のコストカット優先、大人の都合で地域の子どもたちの遊びの場を奪ってにおいて「にぎわい創出」「地域の活性化」云々は明らかに矛盾している。これまでも、観光客用の駐車場確保を理由に、空地を2カ所購入しても有効なにぎわい創出策を立案できない。県内に来る観光客数が増えているのに本市に足を運ぶ観光客はほとんど見られない。市民が買い物に訪れることもない。この現状で「にぎわい創出」は至難のことであることは市民も分かっていますし、市も分かっていることではないか。地域の「にぎわい創出」「活性化」を言うのであれば、地域の子どもたちが元気に遊べる場を作るべきではないか。子どもを持つ親が安心して子育てができる環境にして「住んでいて良かった」と言える「まちづくり」に転換すべきではないか。貸し付け条件の事業内容に、旧本町児童館は再び子どもたちの元気な声が聞こえる遊びの場として回復させる策を入れることを強く求める。</p>
			<p>2 会計年度任用職員の雇用改善と人材確保について</p> <p>(1) 岸田首相は「コストカット型の経済から30年ぶりに歴史的転換を図る」と述べている。そうであるなら、「賃金が上がらない」要因になっている雇用の規制緩和を進めてきた反省と見直しが必要。中でも男女の賃金格差は深刻で、正規雇用の男性の賃金を100とした場合の正規雇用の女性の賃金は75・5%で、生涯賃金は1億円近い格差になります。しかも、非正規雇用の7割は女性で、男女賃金格差の要因になっている。ここに日本のジェンダーギャップ指数が146カ国中、125位と世界で圧倒的に遅れた国になっている背景がある。正規・非正規あわせて640人の職員を雇用する最高責任者として、現況のジェンダーギャップ解消に向け取り組む考えはないか伺う。</p>
			<p>(2) 地方自治体で正規職員が15年間で28万人減り、逆に非正規職員が24万人増え、公務の職場においても非正規雇用が増加の一途をたどっている。非正規職員の4人に3人が年収250万円以下であり、時給の比較では正規職員の43%にすぎない。しかも雇用期間が1年で不安定。勤勉手当を出すのも大事だが、基本給のところでの巨大な格差は残ったまま。ここを変えなければならない。本来、自治体の業務は、任期の定めのない正規の職員によって自治体が責任を持って直接執行すべきもの。今年の4月1日現在、本市の会計年度任用職員数は290人で、全職員数の45・5%を占めている。会計年度任用職員なしには市の業務が遂行できない状況にある。保育士や学校図書館司書など経験や知識、技能が求められる職種で特に多くの会計年度任用職員が活躍している。ここの処遇の改善は、同一労働同一賃金の実現、男女の賃金格差の解消への一歩となる。経験や知識、技能のある人材を正規員として積極的に雇用し、目標を設定して非正規職員の割合を下げていくことが必要ではないか。</p>
			<p>(3) 2022年度は、地方自治体で直接任用されている非正規公務員の多くに関係する「会計年度任用職員制度」が始まってから3年目の年度であった。野々市市は再任用を2回としているが、22年度末で雇止めになった会計年度任用職員は何人なのか。また、継続を希望した人数と継続雇用となった人数を伺う。</p>
			<p>(4) 県内の市町でも再任用年数の制限に違いがある。金沢市は現在5年ないしは10年で、白山市、珠洲市、宝達志水町は4年となっています。金沢市は来年度から任用の年数制限を廃止し、廃止後は、5年までは毎年公募によらない任用の継続を可能とし、5年を超える際には、再度公募による試験を経て可否を決定し、以降5年ごとに同様の方法で任用を行うとしている。その理由として、「人材不足で業務運営に支障をきたしていること。経験や専門性を有する人材の流出や、業務の継続性、経験、知見等の逸失を防止する必要がある」としている。重要な視点に立った見直しである。野々市市も、少なくとも金沢市並みに見直し人材確保を図る必要があるのではないか。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
7	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p>3 介護保険制度改定について</p> <p>(1) 社会全体で支えるとして2000年に介護保険制度が施行されて23年が経過しました。しかし、現実には介護保険制度においても自助・自己責任を求められ、必要なサービスを利用できない実態が広がっています。老々介護、家族介護を理由とした介護離職は高止まりのままです。介護事業所では、深刻な人手不足と、低い介護報酬の下での経営難が続いており、コロナ禍と物価高騰が事態をいっそう加速させています。一方で、ケアプランの有料化、要介護1、2のサービスの保険給付外しなどを反対世論で先送りさせることができました。しかし政府は、来年からの改定で、利用料2割負担の対象を拡大することなどを検討しています。自己負担割合が上がれば「介護サービスの利用頻度を減らざるを得ない」「施設利用料が払えない」人がこれまで以上に増えるという不安の声が上がっている自助と自己責任が求められ、「保険あって介護なし」と言われる現状をどう思うか。</p> <p>(2) 厚生労働省は、65歳以上の介護保険料について、来年度からの改定で、年間合計所得が410万円以上を対象に引き上げるとあわせ、低所得者は引き下げる見直し案をまとめた。見直し案では、最も高い所得の区分を細分化し、新たに4段階を設け、全体では計13段階とする。具体的には合計所得が「410万円以上」「500万円以上」「590万円以上」「680万円以上」という区分を新設し、負担を引き上げる。見直し例として、基準額の1.8倍から最大2.6倍まで増額する案を提示している。本市の現在の所得段階は10段階で、保険料の基準額付き6100円、年額73200円となっている。改定による本市の所得段階は何段階で検討されているのか。第1段階の月額と年額保険料、最高段階の月額と年額保険料、基準額はいくらになるのか。22年度決算の保険料収入の調定額は約8億600万円、23年度予算の保険料収入を約7億7700万円と見込んでいるが、改定による保険料収入額の見込みは。</p> <p>(3) 22年度決算で、あらたに7327万8千円が介護給付費準備基金として積み立てられ、基金残高は8億3180万6千円となっている。介護保険制度は3年毎の事業計画の中で余剰金が生じた場合には基金で積み立て、給付費の不足が生じた場合には取崩して保険給付を提供することになる。同時に、必要以上の基金残高を保有することは被保険者から預かっている保険料の使途目的として適切ではない。次期改定時に保険料を軽減して被保険者に返すのが制度の趣旨ではないか。</p> <p>4 学校体育館のエアコン設置について</p> <p>(1) 国連のグテーレス事務総長が「地球温暖化から地球沸騰化」と警告したように、9月に入っても真夏日が続き、今年の夏はこれまでに経験したことのない異常と言える暑さの連続でした。この暑さは学校における体育の授業等にも影響を及ぼしている。8月に、北海道で小学2年生の女子児童が体育の授業の直後に熱中症の疑いで亡くなるという事故も発生している。屋外運動場での体育の授業は言うまでもなく、屋内での体育の授業にも注意が必要となっている。子どもたちが安心して体育の授業を受けられるようにするためにも学校体育館のエアコン設置はもう待たないである。エアコン設置を求める声は党派を超えた声となっており、あらためて設置を急ぐよう求める。一番新しい野々市小学校体育館は、構造的にエアコン設置は可能ではないか。可能性調査をするよう求める。</p> <p>5 北陸鉄道石川線の存廃問題について</p> <p>(1) 金沢市は、金沢市議会総務常任委員会に石川線の維持経費の一部を沿線自治体で負担する「みなし上下分離方式」を新たな選択肢として示したと報道されました。当然野々市市もこのことについて協議されていると思います。協議内容について報告を求める。</p> <p>(2) 支援事業はいつから行われることになるのか。「みなし上下分離方式」の場合野々市市の負担は年額いくらになるのか等々、協議されているのであれば内容の報告を求める。</p> <p>(3) 存続には、沿線自治体だけの財政負担だけでは限界があるのではないのか。国・県の財政支援が不可欠と考えるが、県はどのような考えと聞いているのか。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）		
7	質問 (一問一答)	15 岩見 博	6 野代町交差点から国道8号線二日市交差点までの道路拡幅整備について <table border="1" data-bbox="639 208 1458 421"> <tr> <td>(1)</td> <td>石川県は県施行で金沢市泉と金沢市押野2丁目交差点の間を結ぶ都市計画道路「泉野々市線」を整備することになった。開通すると国道8号線野々市二日市交差点につながるようになる。現状は市も把握していることだと思いますが、野代町交差点から国道8号線方向に1車線でしか入れない首のあるボトル型となっていて、稲荷・野代線でもそうですが、朝夕の車の渋滞が一層ひどくなるのが懸念される。県の「泉野々市線」の整備にあわせこの区間の道路を拡幅整備する考えはないか。</td> </tr> </table>	(1)	石川県は県施行で金沢市泉と金沢市押野2丁目交差点の間を結ぶ都市計画道路「泉野々市線」を整備することになった。開通すると国道8号線野々市二日市交差点につながるようになる。現状は市も把握していることだと思いますが、野代町交差点から国道8号線方向に1車線でしか入れない首のあるボトル型となっていて、稲荷・野代線でもそうですが、朝夕の車の渋滞が一層ひどくなるのが懸念される。県の「泉野々市線」の整備にあわせこの区間の道路を拡幅整備する考えはないか。
			(1)	石川県は県施行で金沢市泉と金沢市押野2丁目交差点の間を結ぶ都市計画道路「泉野々市線」を整備することになった。開通すると国道8号線野々市二日市交差点につながるようになる。現状は市も把握していることだと思いますが、野代町交差点から国道8号線方向に1車線でしか入れない首のあるボトル型となっていて、稲荷・野代線でもそうですが、朝夕の車の渋滞が一層ひどくなるのが懸念される。県の「泉野々市線」の整備にあわせこの区間の道路を拡幅整備する考えはないか。	
7 明倫高校生の通学時の「のっティ」の利便性向上策について <table border="1" data-bbox="639 477 1458 663"> <tr> <td>(1)</td> <td>先日、JR野々市駅から西部ルートを利用して通学する明倫高校の生徒が定員オーバーで乗れず、同時刻に発車する北部ルートに乗るよう運転手が案内しているところを目撃した。フォルテ前で中央ルートに乗り換えれば学校に着く時間はほぼ同じで影響はないものの、いつまでもこの状態を続けるのはどうか。乗り継ぎの不便を解消して明倫高校生の通学の利便性向上策を検討すべきではないか。</td> </tr> </table>	(1)	先日、JR野々市駅から西部ルートを利用して通学する明倫高校の生徒が定員オーバーで乗れず、同時刻に発車する北部ルートに乗るよう運転手が案内しているところを目撃した。フォルテ前で中央ルートに乗り換えれば学校に着く時間はほぼ同じで影響はないものの、いつまでもこの状態を続けるのはどうか。乗り継ぎの不便を解消して明倫高校生の通学の利便性向上策を検討すべきではないか。			
(1)	先日、JR野々市駅から西部ルートを利用して通学する明倫高校の生徒が定員オーバーで乗れず、同時刻に発車する北部ルートに乗るよう運転手が案内しているところを目撃した。フォルテ前で中央ルートに乗り換えれば学校に着く時間はほぼ同じで影響はないものの、いつまでもこの状態を続けるのはどうか。乗り継ぎの不便を解消して明倫高校生の通学の利便性向上策を検討すべきではないか。				
8	質問 (一問一答)	6 島中 勝己	1 歩車分離式信号機のある交差点について <table border="1" data-bbox="639 719 1458 904"> <tr> <td>(1)</td> <td>野々市市内において、歩行者の安全を確保するため及び、地域の方々からの要望に応じて歩車分離式信号機に変更した交差点がありますが、歩車分離式信号機に変更したことによって、交通事故が防止されるなど、交差点の安全性が向上されたのでしょうか。一方で、交通渋滞が起こるなどデメリットはなかったのでしょうか、お伺いいたします。</td> </tr> </table>	(1)	野々市市内において、歩行者の安全を確保するため及び、地域の方々からの要望に応じて歩車分離式信号機に変更した交差点がありますが、歩車分離式信号機に変更したことによって、交通事故が防止されるなど、交差点の安全性が向上されたのでしょうか。一方で、交通渋滞が起こるなどデメリットはなかったのでしょうか、お伺いいたします。
			(1)	野々市市内において、歩行者の安全を確保するため及び、地域の方々からの要望に応じて歩車分離式信号機に変更した交差点がありますが、歩車分離式信号機に変更したことによって、交通事故が防止されるなど、交差点の安全性が向上されたのでしょうか。一方で、交通渋滞が起こるなどデメリットはなかったのでしょうか、お伺いいたします。	
(2) 三納交差点周辺地域の方々から、朝夕のラッシュ時に住宅街に入ってくる車両が歩車分離式信号機になる前より多くなり「登下校時の児童生徒が安全に通行する事に不安である」、とお聞きしました。このことについて、市としてどのように対策するのかお伺いいたします。					
9	質問 (一問一答)	2 木谷 直子	2 住宅街の中にある小さな公園の管理体制について <table border="1" data-bbox="639 1128 1458 1314"> <tr> <td>(1)</td> <td>住宅街の中にある小さな公園に植えられている樹木等について、枝が道路や敷地外にはみ出したり、折れそうになっていたり、芝生の管理不足が散見される。同様に市内にある大きな公園の状況についても同じように管理不足があると思われませんが、定期的な巡回や伐採など管理の体制について、どのようにされているのかお伺いします。</td> </tr> </table>	(1)	住宅街の中にある小さな公園に植えられている樹木等について、枝が道路や敷地外にはみ出したり、折れそうになっていたり、芝生の管理不足が散見される。同様に市内にある大きな公園の状況についても同じように管理不足があると思われませんが、定期的な巡回や伐採など管理の体制について、どのようにされているのかお伺いします。
			(1)	住宅街の中にある小さな公園に植えられている樹木等について、枝が道路や敷地外にはみ出したり、折れそうになっていたり、芝生の管理不足が散見される。同様に市内にある大きな公園の状況についても同じように管理不足があると思われませんが、定期的な巡回や伐採など管理の体制について、どのようにされているのかお伺いします。	
			(2) 公園利用者から、公園内の遊具について、老朽化等により使用停止状態が散見されるが、早く使えるようにして欲しいとの声がある。遊具の修理や新設など市の考えや、今後の計画についてお伺いします。		
1 学校図書館の充実について <table border="1" data-bbox="639 1482 1458 1706"> <tr> <td>(1)</td> <td>野々市市では、図書の選定・廃棄基準が策定されていない。学校図書の廃棄・更新はどのような判断で行われているのか伺う。</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>国の財政措置としての図書購入費と市の予算額を比較したところ良好な結果であった。しかし、学校によるバラつきをなくし良い状況を持続させるために、選定・廃棄基準を策定することは重要。それに基づいた予算の確保も必要と思うが、所見を伺う。</td> </tr> </table>	(1)	野々市市では、図書の選定・廃棄基準が策定されていない。学校図書の廃棄・更新はどのような判断で行われているのか伺う。	(2)	国の財政措置としての図書購入費と市の予算額を比較したところ良好な結果であった。しかし、学校によるバラつきをなくし良い状況を持続させるために、選定・廃棄基準を策定することは重要。それに基づいた予算の確保も必要と思うが、所見を伺う。	
(1)	野々市市では、図書の選定・廃棄基準が策定されていない。学校図書の廃棄・更新はどのような判断で行われているのか伺う。				
(2)	国の財政措置としての図書購入費と市の予算額を比較したところ良好な結果であった。しかし、学校によるバラつきをなくし良い状況を持続させるために、選定・廃棄基準を策定することは重要。それに基づいた予算の確保も必要と思うが、所見を伺う。				
2 単身高齢者の終活支援について <table border="1" data-bbox="639 1762 1458 1874"> <tr> <td>(1)</td> <td>自治体による単身高齢者の終活支援を行うことにより、本人の尊厳を守り、安心を届けたい。特に、終活情報登録伝達事業は有用と思う。市で単身高齢者終活支援に取り組めないか伺う。</td> </tr> </table>	(1)	自治体による単身高齢者の終活支援を行うことにより、本人の尊厳を守り、安心を届けたい。特に、終活情報登録伝達事業は有用と思う。市で単身高齢者終活支援に取り組めないか伺う。			
(1)	自治体による単身高齢者の終活支援を行うことにより、本人の尊厳を守り、安心を届けたい。特に、終活情報登録伝達事業は有用と思う。市で単身高齢者終活支援に取り組めないか伺う。				
3 帯状疱疹について <table border="1" data-bbox="639 1930 1458 2143"> <tr> <td>(1)</td> <td>帯状疱疹の予防にはワクチンが有効であるが、費用が高額である。国による定期接種化はまだ議論中。一方、独自に助成する自治体が増えており、帯状疱疹に対する市民の関心も高い。野々市市でも帯状疱疹ワクチンの助成をするべきと思うが、市長の見解を伺う。</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>帯状疱疹に関する正しい情報を、ホームページや広報等を利用し、もっと市民に提供して欲しい。</td> </tr> </table>	(1)	帯状疱疹の予防にはワクチンが有効であるが、費用が高額である。国による定期接種化はまだ議論中。一方、独自に助成する自治体が増えており、帯状疱疹に対する市民の関心も高い。野々市市でも帯状疱疹ワクチンの助成をするべきと思うが、市長の見解を伺う。	(2)	帯状疱疹に関する正しい情報を、ホームページや広報等を利用し、もっと市民に提供して欲しい。	
(1)	帯状疱疹の予防にはワクチンが有効であるが、費用が高額である。国による定期接種化はまだ議論中。一方、独自に助成する自治体が増えており、帯状疱疹に対する市民の関心も高い。野々市市でも帯状疱疹ワクチンの助成をするべきと思うが、市長の見解を伺う。				
(2)	帯状疱疹に関する正しい情報を、ホームページや広報等を利用し、もっと市民に提供して欲しい。				

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
10	質問 (一問一答)	10 向田 誠市	<p>1 本市の教育関係に関する件について</p> <p>(1) 夏の危険な暑さにより、これまでのように体育の授業で水泳教室ができない場合に、泳ぎを苦手とする児童を含め、水難事故防止の観点から、本市小学校における児童の水泳教室の取り組み方法をどのように検討されるのか。市長のご所見をお伺いします。</p> <p>(2) 各小中学校に設置されているプールに、熱中症対策用屋根の新設を提案したい。屋根を設置することで、熱中症対策のみならず、黄砂や枯葉などがプール内に堆積することの防止対策にもなり、プールの清掃がスムーズにおこなわれ、施設の長寿命化にも繋がることから検討されては如何でしょうか。市長のご所見をお伺いします。</p> <p>(3) 学校長経験者や教育委員会の指導主事に加え、弁護士や医者など専門家で構成する「支援チーム方式」を採用した「学校トラブル対応拠点」を市教育委員会に設置し、学校に助言したり、派遣したりすることで、これ以上、第三者調査委員会の設置が必要となるような「いじめ問題」が発生することの無いように提案したいと思います。市長のご所見をお伺いします。</p> <p>(4) 文部科学省が公表した2022年度「教員勤務実態調査」速報値のうち「教師の1日当たり在校時間表」の中学校の在校時間を注視すると、校長先生よりも副校長・教頭、教諭の時間数の長いことが一目瞭然となっています。教諭については、今後部活動が地域移行を推し進めることにより減少が予測できますが、副校長・教頭については、この時間数の他に突発的なトラブル等の対応も多いことから、業務負担の軽減が大きな課題になると思われまます。 そこで、副校長・教頭をサポートする文部科学省の新制度方針「副校長・教頭マネジメント支援員制度」の採用を提案したいと思います。それにより、校長先生と教諭との間の風通しがスムーズになり、「苦情やいじめ問題」に対する対応も問題なく対策対応できるとおもわれるが、市長のご所見をお伺いします。</p> <p>2 少子化・子育て環境に関する件について</p> <p>(1) 厚生労働省の調査では、妊婦の4分の1が自治体をまたいで「里帰り出産」をしているとのことで、妊婦の皆さんは「出産」に対し色々と不安を抱え里帰りをされておられると思われまますので、他市町村に在住で、本市の親もとで「里帰り出産」される妊婦の皆さんに出産費用等を含め、どのような手助けができるのか検討していただきたいと思いますが、市長のご所見をお伺いします。</p> <p>3 ひきこもりに関する件について</p> <p>(1) 47都道府県と20の政令指定都市では「ひきこもり地域支援センター」を設置しており、相談支援、ひきこもり状態の人の居場所づくり、当事者会や家族会を開催するなど、支援を行っております。 本市において痛ましい事件がおこらないように、「ひきこもり支援ステーション事業」や「ひきこもりサポート事業」などひきこもり支援の拡充を進めるべきと思いますが、市長のご所見をお伺いします。</p> <p>4 「いしかわ百万石文化祭2023」に関する件について</p> <p>(1) テレビの報道番組で「いしかわ百万石文化祭 2023」の「第23回全国障害者芸術祭・文化祭」に出展された「アート作品」の内58点を1点当たり4,000円で企業や自治体に貸し出しをして、内1,000円を製作者に還元し、制作材料費に充てる事業を目にしました。私は、本市においても少しでも障害者の皆さんの手助けになるように「アート作品展」の企画をされては如何かと思いますが、市長のご所見をお伺いします。</p> <p>5 末松廃寺跡公園に関する件について</p> <p>(1) 今後、「末松廃寺跡公園」の植栽樹木および雑草の管理をどのようにしていられるのか、市長のご所見をお伺いします。</p> <p>(2) 本市は当初予算で、「末松廃寺跡公園埋蔵文化財調査費」として、調査開始年度より年間数百万円の予算計上をおこない調査を継続されておられますが、今後「末松廃寺跡公園」を、どのように活用し、運営していくのか、市長のご所見をお伺いします。</p>